

平成30年7月7日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

出水による工事現場設備の流出について【第四報】

～ 7月7日 最終報告 ～

新丸山ダム建設中の転流工事において、平成30年7月6日の梅雨前線豪雨による出水により、工事現場の仮設設備(防音壁)が一部倒壊しました。現場には洪水に伴う流木等があるため現地での確認はできていませんが、流出した恐れがあることから、監視を続けています。本日17:00現在、下流への流出は確認されていません。

明日も、確認を行う予定です。

監視の状況: 「別添」参照

明日の予定: 陸路より、丸山ダム下流から兼山ダムまで巡回し、流出物の有無について確認を行う予定です。

流出物が確認された場合には流出物の回収に努めます。

流出物内容: 鋼製壁(高さ7.0m 延長約75m)



- 解禁指定なし
- 配布先 美濃加茂市政記者クラブ
- 問い合わせ先

(新丸山ダム)国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

副所長(技術) 永田 基

電話 0574-43-2780(代表)



-  A班 蘇水峡橋
-  B班 八百津大橋
-  C班 蘇水公園前
-  D班 稲葉橋

本日午前・午後の2回4班に分かれて陸路により
巡視を実施しました。
流出物は確認されませんでした。